



会員企業をたずねる

若手の力、若手の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く若手社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。

第5回

株式会社日立物流

人事総務本部 グローバル人財企画部 人財開発グループ 主任

田力 ちあきさん

PROFILE

2006年入社。物流センターで出入庫関連業務、首都圏第一営業本部(当時)の総務部でコンプライアンス・教育関連業務を担当。2011年10月から1年間、海外業務研修生としてシンガポールに派遣。帰国後現職に。



—ご自身が所属する職場の業務について教えてください。

人財の確保(採用)、グローバル人財の育成(教育)、ダイバーシティの推進の3つを担っています。現在当社は、「地域で勝ち抜き、世界で戦い、勝てる物流企業」をビジョンとして掲げています。その達成のためには人財のグローバル化、ダイバーシティ化が不可欠です。私たちの部署では人財部門としてこの事業戦略に即した取り組みを実施していく必要があります。

—ご自身が担当されている業務内容を教えてください。

主に海外ナショナルスタッフの育成に関連する業務を担当しています。日本では幹部候補育成、現場指導者養成等の研修、また、海外においては当社の「安全文化」を伝えるため安全指導を行う「安全キャラバン隊」等、国内外における研修の企画・運営

を行っています。また、「外国人技能実習制度」に基づくフィリピンからの実習生の受け入れも担当しています。その他、2012年に設立された「ダイバーシティ推進センター」の施策にも携っています。

—「ダイバーシティ推進センター」について教えてください。

日立物流グループの総合力強化を目指し、女性をはじめ、障がい者、外国籍、高齢者等多様な人財の活躍と職場風土づくりの推進を担っている組織です。女性の活躍推進については、2013年度に数値目標(KPI)として、2020年度までに管理職に占める女性比率を10%にすることを設定し、KPIの達成を目指した取り組みを進めています。例えば、2012年度から半年に一度女性管理職を対象とした集合研修を実施していますが、男性管理職を交えたディスカッションを取り入れるなど、さまざまな施策を通じて、ダイバーシティの啓発活動に取り組んでいます。

外国籍社員については、2020年度までに社員比率を3%にすることを数値目標として掲げて積極的に採用を行っています。また、入社後は外国籍社員を対象とした座談会や上司、本人を対象としたフォロー面談も行っています。

—研修の企画・運営に関する課題があったら教えてください。

さまざまな研修を行っていますが、既存の施策や



打ち合わせをする田力さん

各所のニーズに対応する形での実施が多くなっています。もちろんそれらは前提として必要ですが、今後は人財部門としてもっと主体的に、自ら課題を見つけ、使命をもって、体系化されたもの以外の施策を立案できる部署になることが課題です。

——仕事に対するやりがいを教えてください。

短期間の研修だとしても、その準備には長い時間を要します。カリキュラムの検討やスケジュールの調整には苦勞も伴いますが、研修終了後に受講した社員の方から「良かった」「仕事に役立つ知識が吸収できた」といった感想を聞くとホッとします。また、研修の事務局等で海外に行くチャンスもあり、海外の現場を見て、スタッフの皆さんと直接話ができる機会に恵まれていることもやりがいになっています。

——日立物流の良さを教えてください。

自分の仕事に情熱を持っている人が多いところだと思います。部門や役職を問わず、そういう方と仕事上で接することは大変刺激になります。また風通しも大変良いと感じます。私の職場でも仕事をする上で悩んだ時はすぐに相談できる環境があります。

——今後の抱負や目標を教えてください。

当社の事業は現場の力によって成り立っています。現在行っている各種施策の実施を通じて、現場をはじめ事業部門からの理解・信頼を得ることができたいと思います。そのためには会社の事業戦略と共に、物流現場を始めそれぞれの職場

スタッフの皆さんと
ふれあえる現場での研修は、
大変刺激になります



安全キャラバンに同行 (マレーシア)

の状況をしっかりと理解する必要があります。また、自己啓発にも力を入れ、グローバル企業の一員として、英語力も向上させたいと思います。今年は入社して10年目という節目の年でもあります。いままでの経験を振り返り、ビジョンを持って仕事に取り組んでいきたいと思っています。

——ありがとうございました。

会社概要

株式会社日立物流

本社所在地 東京都江東区東陽7-2-18
創 業 1950年2月
資 本 金 168億200万円
代 表 者 執行役社長 中谷 康夫
事 業 所 数 国内357カ所、海外408カ所 (2014年3月現在)

【事業概要】

日立物流は、1950年、(株)日立製作所の輸送業務を請け負う物流子会社として創業。同社工場構内作業の一括受託、国内外における超重量物の輸送などを通じて業容を拡大してきた。また、物流情報システムの構築に早期から取り組み、企業の物流業務を包括的に受託するシステム物流(3PL)を展開。総合的かつ高品質な物流サービスを提供している。



首都圏東物流センター